

ガバナンスの強化

社会から信頼される企業であり続けるために、矢崎らしさを徹底させながらガバナンスの強化に努めています。

コーポレート・ガバナンスと内部統制

○ 基本的な考え方

当社は、社是「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」の実現に向け、ステークホルダーの皆様と健全な関係を築き、企業としての社会的責任を果たすとともに、持続的な成長と企業価値の向上をめざして、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

○ 内部統制の強化

当社は、会社法に基づき企業集団における業務の適正を確保するため、取締役会で定めた「内部統制に関する基本方針」に準じて、内部統制システムの構築・強化に努めています。

○ 推進体制

当社は監査役設置会社で、取締役会および監査役会を設置するほか、経営会議を設置しています。取締役会は月1回(臨時開催あり)、法令で定められた事項や経営に関する重要事項などを意思決定・監督しています。経営会議は、事業の運営に関する意思決定・情報共有の場として、社長、副社長、その他部門長などで構成され、月1回開催しています。

2016年度は、これまで個々に設置していた会議体のうち、CSR委員会、コンプライアンス委員会、リスクマネジメント委員会を発展解消し、矢崎グループの内部統制の機能状況を継続的に監視・評価する機関として、社長を委員長とする「業務適正化委員会」を設置しました。さらに、グローバル各地域の内部統制強化を目的に、ASEAN地域を皮切りに、「内部統制委員会」を設置しました。

コンプライアンス

○ 基本的な考え方

矢崎グループは、経営基本方針に「法を守り、地域の文化を尊重した企業活動を行い、社会発展に貢献する」ことを定めています。それを実現するため、「守るべき法やルール明確化」「従業員教育」「相談や問い合わせ体制の整備」および「モニタリング」の4つの柱を軸にコンプライアンス活動を実施しています。

○ 推進体制

矢崎グループは、コンプライアンスに対する経営トップの強い意思を表明するとともに、コンプライアンス活動のフォローアップと改善を促進しています。

2015年度から導入した「コンプライアンス・オフィサー制度」は、各部門の自律的なコンプライアンス活動を推進する取り組みとして定着しています。

2016年度は、海外のグループ会社の法務責任者をメンバーとする「グローバル・リーガル会議」を開催し、共通の課題への取り組みについて認識の統一を図りました。同会議では、前年度の会議で共有された問題について継続してフォローアップすることで、矢崎グループ全体のコンプライアンスレベルの向上につなげています。さらに、「内部統制システム」「社内監査」についての基調講演とグループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは、各拠点の課題についてより掘り下げた検討・意見交換が行われました。

また、ASEAN地域のリーガル会議をシンガポールで行い、ASEAN特有の課題について深く議論しました。とくに、腐敗防止対策については外部講師による

Topics | コンプライアンス・オフィサー・アワード

コンプライアンス・オフィサー制度のさらなる活性化と、オフィサーおよびオフィサー業務のサポートを行う部門コンプライアンス事務局の意識向上を目的として、2016年度より、コンプライアンス活動について顕著な実績をあげたオフィサーとその部門を表彰する「コンプライアンス・オフィサー・アワード」を創設しました(表彰対象は上位3部門)。各部門からのさまざまな活動実績

の報告を受け、候補者を選定の上、5月の業務適正化委員会での最終選考後、6月の「方針展開会議」において表彰式を行いました。



表彰式の様子

講演を聴講した上で集中的に議論するなどし、グループ各社はその成果を取り組みに反映させています。



グローバル・リーガル会議の参加者

○ 守るべき法やルールの明確化

矢崎グループ*の事業に共通して関連する法令をリスト化した「法令遵守管理項目表」によって可視化し、毎年見直しを行っています。

また、特定の事業や地方自治体に適用される法令や条例は、関連する事業所のコンプライアンス・オフィサーがアップデートし、遵守活動に組み込んでいます。

* 矢崎総業(株)、矢崎計器(株)、矢崎部品(株)、矢崎エナジーシステム(株)

○ コンプライアンス教育

矢崎グループでは、経営トップを含む役員向けコンプライアンス研修をはじめ、職層・階層・法令別の教育を実施し、関連する法規の理解とコンプライアンス意識の向上を図っています。

とくに、2016年度は、「矢崎法務会議」を立ち上げ、国内子会社役員向けの教育と情報共有を始めました。

また、気軽にコンプライアンスに親しみ、従業員一

コンプライアンス教育

種別	対象
職層別	
矢崎法務会議	国内子会社役員
コンプライアンス・オフィサー会議	各コンプライアンス・オフィサー
部門コンプライアンス事務局会議	部門または事業所コンプライアンス事務局担当者
部門内教育	各部門従業員
階層別	
役員研修	国内子会社を含む執行役員以上
新任部長・リーダー勉強会	新任部長・リーダー
新入社員研修	新入社員
海外出向前研修	海外出向者
法令別	
独占禁止法教育	営業部門、調達部門、開発部門など
下請法教育	調達部門、生産部門、社内下請法監査員など

人ひとりのコンプライアンス意識を高めることを目的として、「コンプライアンス・ウィーク」を開催し、コンプライアンス・オフィサーやコンプライアンス事務局が中心となって企画したイベントを部門ごとに実施しました。

イベントでは、クロスワードパズルやコンプライアンスクイズを通じて意識高揚を図った部門、コンプライアンス・オフィサーとの対話を通じて理解を深めた部門、コンプライアンス意識調査を行い自部門の問題発掘を行った部門など、多くの自主的な取り組みが見られました。



コンプライアンス・オフィサーとの対話の様子

○ 公益通報制度

矢崎グループは、問題の早期発見と予防のための相談・通報制度「YAZAKIアイ」を運用し、社内外に窓口を設けています。2016年度は、その認知度を上げるため、各事業所の食堂にポップを設置したほか、従業員手帳に相談先を明記するなどの周知活動を行いました。

また、誰もが気軽に安心して相談できるように、社内窓口担当者の構成を見直しました。さらに窓口担当者の対応スキル向上のため、産業カウンセラーによる研修を義務化しています。

Topics 中小企業庁主催の下請取引適正化推進シンポジウム講演

2016年10月、中小企業庁主催の下請取引適正化推進シンポジウムで、矢崎グループのコンプライアンス体制を説明しました。

ここでは下請法遵守プログラムに留まらず、経営基本方針の「オープンでフェアな取引に努め、共存共栄を図る」という理念の実現方法(協業によるムダ取り活動の推進と効果の適正なシェア)も紹介しました。



○ モニタリング

コンプライアンス活動の実効性を確保するため、「法令遵守管理項目表」による高リスク項目を洗い出し、法の要求を確認しやすいかたちで表現し直した「コンプライアンス・チェックシート」を使った自主点検を行っています。

また、人事、財務、法務などの法令主管部署による機能別監査、および内部監査部による定期監査を重層的に行うことで、確実な法令遵守の実現を図っています。

リスクマネジメント

矢崎グループは、内部統制、コンプライアンスと同様に、重要項目としてリスクマネジメントを推進しています。2016年度はグローバルリスクマネジメント活動を強化し、矢崎のグローバルスタンダードプロセスの展開をタイ、インドネシア、ブラジルで始めました。

情報セキュリティ

○ 基本的な考え方

近年、組織化されたプロ集団によるサイバー攻撃が増加しており、その標的は国家・企業を問いません。攻撃手口も複雑で発見しにくいものとなっており、どのような攻撃手口に対しても、現状の情報セキュリティ対策の有効性を検証し、継続的に対策を強化する必要があります。サイバー攻撃によって情報漏えい事件・事故が発生した場合、社会的な信用低下、お客様からの信用低下、利益の損失につながります。

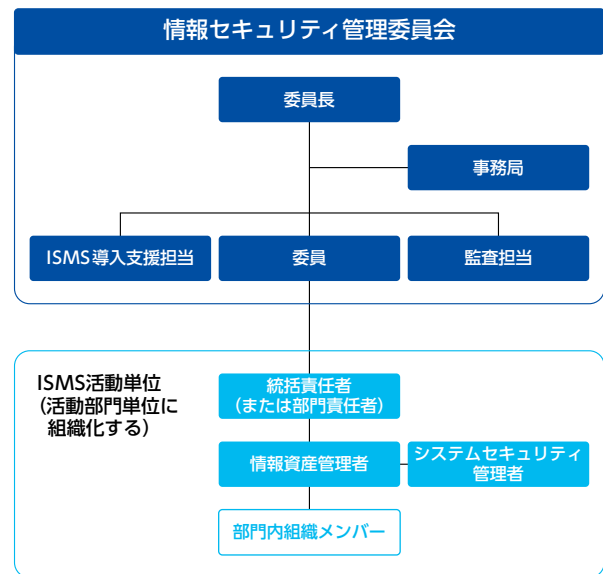
矢崎グループでは、業務上知り得たお客様の個人情報を含むさまざまな機密情報の保護をするとともに、お客様の視点に立ち、製品に関する必要な情報を適切に提供するため、情報セキュリティへの取り組みに注力しています。

○ 推進体制

矢崎グループでは、「情報セキュリティ管理委員会」を設置し、委員25名を部門ごとに配置しています。隔月で開催している委員会では、各部門の情報セキュリティ活動の状況確認および標準化・共通施策・教育に

関する検討を行っており、高いセキュリティレベルの維持に努めています。

今後も情報セキュリティ活動を推進することで、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様の信頼獲得に努めていきます。



○ 運用

情報セキュリティ管理委員会を軸とした社内体制を確立し、情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) によるPDCAを1年間で回す活動を継続しています。日本国内では子会社を含む155部門、アジア圏では9カ国33法人が実施しています。

また、セキュリティ事故発生時には、情報セキュリティ管理委員会に報告し、初動対応の迅速化、再発防止の徹底を図っています。個人情報保護の観点では、法改正にともなう社内規定への反映と教育のほか、社内イントラネットでの個人情報閲覧時には、保護方針を掲示することで注意喚起を行っています。